



高木石材新聞



夏本番を迎え、暑さの厳しい季節になりました。先日、石材の研修で熊本城を訪れました。平成28年(2016)の熊本地震で甚大な被害を被った熊本城ですが、その修復工事現場を見学させていただきました。普段、一般の方は立ち入りができない区域で、昔の石垣作りの技術の高さを垣間見ることができました。石垣建造物の文化的価値を保つため、復旧工事は当初の見通しの20年から

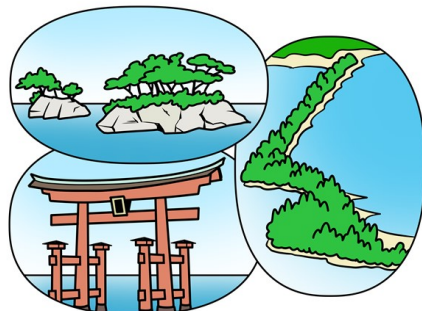
35年計画に見直され、完全復旧は2052年の予定だそうです。文化財としての価値を守るために細かな工程が組まれており、本当に気の遠くなるような作業ですが、頑張っていたきたいと思います。



知っていますか? 7月の記念日

●7月21日は「日本三景の日」です

日本三景観光連絡協議会が2006年に制定しました。日本三景は、江戸時代初期に儒学者 林春斎が著書『日本国事跡考』で「松島」「天橋立」「宮島」を「日本三景」と称したことに由来し、林春斎の誕生日にちなんで制定されました。いずれも国の特別名勝に指定され、1996年には宮島の厳島神社がユネスコの世界文化遺産に登録されました。



※仏事クイズの答え:③

※まちがいさがしの答え: 1)筆の位置 2)織姫の薄いストール 3)輪つなぎの色

■発行者:高木石材店

鈴木 一成 (すずき かずなり)

昭和47年愛知県生まれ。妻、娘(大4)、息子(大2)、娘(大1)の5人家族。子供達とはとても仲良しです!

犬山ロータリークラブ、犬山JCOB所属、2013年犬山西小学校PTA会長
一般社団法人日本石材産業協会 墓石部会長



※若い時から、登山と写真にはまっていました。自然が大好きです! こそばらく山から遠ざかっていますが、機会を見つけて、北アルプス穂高岳に登ってみたいと思います!

高木石材店

0120-967-614

愛知県犬山市大字上野字大門732-1

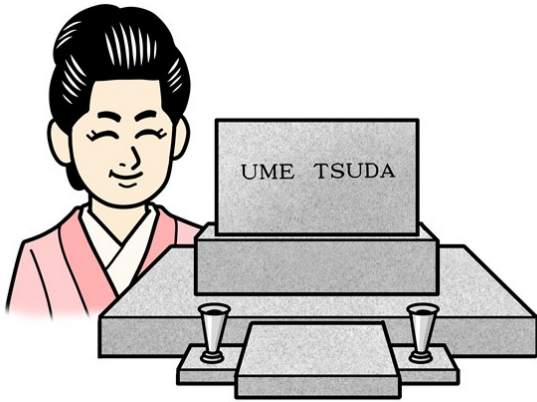




～お墓・仏事のミニ知識～



★ 5千円札の顔「津田梅子」のお墓



津田梅子は明治から大正にかけて日本の女子教育に尽力した教育家で、津田塾大学の創設者としても知られていますが、そのお墓が同大学の小平キャンパス敷地内にあることをご存じでしょうか？梅子はわずか6歳で「岩倉使節団」の一員となりアメリカへ留学しました。帰国後も女性の地位向上に尽力し、その後、現在の津田塾大学を創立。「墓は小平の新校地に建てて欲しい」と遺言しました。許可が下りず一度は青山に埋葬されたものの、後に遺族や卒業生などの要望で許可が得られて小平へ改葬されます。お墓正面はローマ字で「UME TSUDA」と彫刻されています。今も校舎から少し離れたグラウンドの奥で、静かに眠っています。

神事クイズ Q&A

知っているようで知らない神事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



「千本鳥居」で有名な京都府の伏見稻荷大社。実際にある鳥居は何基でしょう？

- ① 約100基
- ② 約1,000基
- ③ 約10,000基



すべて奉納されたもので、現在も増え続けていますので、かなりの数です！



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。